



【スマート農業技術普及に向けた取り組み】

自動操舵装置の精度向上に向けて、 RTK基地局の運用を1月17日から開始します

JAグループ愛知は、スマート農業技術普及の一環として、農作業の省力化に向けて、操作中の農業機械の位置情報を人工衛星で測定し、設定した経路を自動走行する自動操舵装置の普及をすすめています。

JAあいち経済連(名古屋市中区/代表理事理事長：田中徹)は、自動操舵装置のさらなる精度向上を目的に、愛知県内の4か所にRTK*基地局を設置し、1月17日(金)から運用を開始します。RTK基地局の設置により、位置情報の誤差が小さくなり、自動操舵装置の精度を向上することができます。

今後、生産者向けの実演会などで周知し、RTK基地局および自動操舵装置の利用拡大に取り組みます。

※Real Time Kinematic：人工衛星の情報をもとに位置情報をリアルタイムで測定し、測定精度を向上させるシステム

◆自動操舵装置とは…

人工衛星の信号を受信し、トラクタやコンバイン、田植機の位置を測定することで、ハンドルを自動で制御し、設定した経路を自動走行するシステム。

＜システムを活用できる作業例＞

播種・畝立て・溝掘り・耕うん・代掻き・防除等

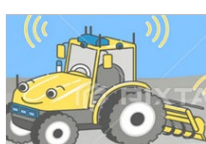
＜メリット＞

見える化



作業跡が見えるため
重複作業が削減できる。

省力化



ハンドル操作なし
で、直進を保つこ
とができる。

農業技術の継承



初心者でも熟練者と
同等の精度・速度で作
業ができる。

◆RTK基地局の設置効果

自動操舵装置の位置情報は、人工衛星のみだと約30cmの誤差が生じるため、位置情報の補正が必要です。

補正方法は複数ありますが、精度やコストを考慮し、「固定基地局インターネット方式」を採択しました。人工衛星に加えて、RTK基地局からも農業機械の位置情報を受信することで、誤差を約2～3cmまで小さくできます。



◆設置場所

令和6年12月に愛知県内の4か所へ基地局を設置しました。
設置場所から半径2.5km以内では安定的に使用することが可能です。

設置場所	市町村
JAあいち経済連 尾張整備工場	弥富市
JAあいち経済連 農業機械総合センター	安城市
JAあいち知多 南知多集荷センター	南知多町
JAあいち経済連 営農支援センター	豊橋市

対象エリア



＜この件に関するお問合せ＞

JAあいち経済連 生産資材部 農業機械課 担当：内田・服部

TEL：0566-99-6181 / FAX：0566-99-6188 E-mail：nouki@ja-aichi.jp